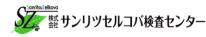
BRAF遺伝子変異解析 依頼書 冷凍検体 冷凍検体





依	衣 頼 日		年 月		日	電	電話番号					
病院コード						F	F A X					
病院名						Е-	E-mail					
飼主名		カタカナで	カタカナでご記入ください			カタカナでご記入ください カルテNo.			o.			
動物種					品 種				体 1	重		
年 齢		歳 ヶ月齢			性別	□♂ □♀ (□ ^{避妊} 去勢済 ・ □今回処置)					置)	
担当	医											
依頼形式		7	検査検体			ঠ	検体量は <mark>尿であれば10mL</mark> 程度、 スピッツ管にて遠心後に1mm 厚の沈渣が肉眼で見えることが望ましい。 *目安は沈渣塗抹を作成した際に十分な上皮 細胞が観察される量の沈渣 *沈渣塗抹標本は検査検体としては不適です。 *腫瘤の生検組織であれば2mm角程度					
注意	※ 検係	倹体量不足により検査ができないことがあります。										
	採取部位		採材方法				処理·保存方法				備考	
サンプル情報	サン	□ 尿沈渣 □ ボンプル □ 前立腺マッサージ □ 腫瘤組織 □ その他(ジ沈渣)	冷凍保存					
そ(の他特	記事項	· 等									

(この欄には記入しないで下さい)

受付日	受付番号	
請求コード		
備考		